

## 親子で力を合わせて 木工広場

第35回親と子の木工広場（富岡木材組合、町建設業協会、県建築業組合連合会甘楽支部主催）が7月28日、富岡製材協同組合プレカット工場（白倉）で開かれました。参加した小学生と保護者約250人が、イスや棚、物入れなど県産木材を使った木工作品作りに挑戦しました。



親子で協力して作品を作る参加者



力作が並んだ作品展

父親と参加して棚を作った黒澤実菜さん（新屋小5年）は「今まであまりしたことがなかったので、体験できて楽しい」と話してくれました。完成した作品は8月10日から22日まで、ら・ら・かんらに展示され、多くの来館者が木のぬくもりあふれる作品に見入っていました。

## あっと驚く サイエンス・マジック

新屋地区生涯学習推進協議会（黒澤 篤会長）と新屋地区子育て連（富田里子会長）は共催で8月5日、夏休み親子ふれあい企画としてサイエンスマジックショーを新屋小学校体育館で行いました。

「群馬のでんじろう」こと小島 昭さん（NPO法人小島 昭研究所理事長）を講師に迎え、約120人の親子と来町していた中国ハルビン市学生研修団17人が科学の不思議や面白さに触れる貴重な体験をしました。

富田ありすさん（新屋小6年）は「液体窒素で花がバラバラになったのでとても驚きました。知らないことを学べてよかったです」と話してくれました。



←↑液体窒素を使った実験に挑戦する参加者



# 県3位!新屋イーグルス

第50回群馬県少年学童軟式野球富岡支部予選大会(6月8～29日・富岡市民球場ほか)が開かれ、新屋イーグルス(井澤将勝監督・井澤慶心主将・下写真)が3位に入賞しました。

この成績により、8月10～16日には、前橋市民球場ほかで開かれた第1回前橋学童選手権大会に出場し、粘り抜く野球で3位に入賞しました。

井澤監督は「各支部代表32チームの中で好成績を残せました。今後も楽しく元気に活動します」と話されました。



# 母の日大会開催

～更生保護女性会～



地区代表者が自分たちや地域でできることなどを発表

甘楽町更生保護女性会(中野恵理子会長)の公開ケース研究会・青少年を守る母の日大会が7月23日、町公民館で開かれました。研究会では、出席した会員と関係者約90人が、少年院在院中の少年・少女たちが作成した映像作品を視聴し、各地区の代表者が意見を発表しました。また、小幡駐在所の布施 隆警部補の講話と地域で子どもを守るための講演に耳を傾けました。

甘楽町更生保護女性会の会員は現在136人。薬物乱用防止の願いを込めた手作りしおり人形の作成や振り込め詐欺防止などの啓発活動、小学生の下校時見守りパトロールなどを行っています。

# 優勝は福島地区!

～町地区対抗野球～

第36回甘楽町地区対抗野球大会が7月28日、総合公園Aグラウンドで開かれました。熱戦を制したのは、福島地区でした。結果は次のとおりです。(敬称略)

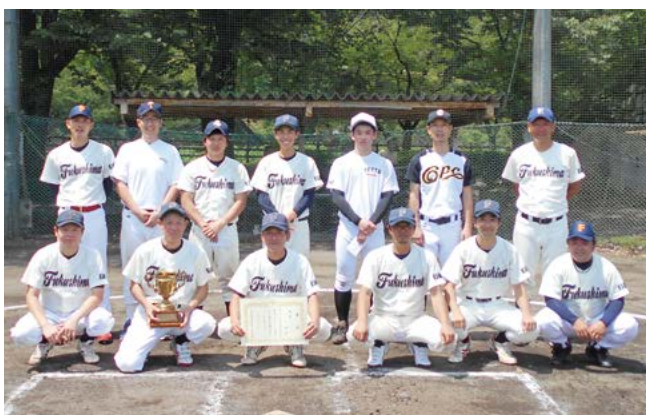
◆成績 優勝 福島地区(下写真)

準優勝 小幡地区

☆個人賞 最優秀選手賞 森平丈楼(福島地区)

殊勲賞 斉田竜輔(福島地区)

敢闘賞 飯塚啓介(小幡地区)



# 万燈会で空手披露

～宝積寺～



宝積寺(轟・西有孝裕住職)で迎え盆の日の8月13日に万燈会まんとうえが開かれました。ボランティアの皆さんの協力により、行灯あんどんやガラス・コップの灯籠など約4000基に明かりが灯されました。今年の表現文字は「令和」が演出され、境内に幻想的な世界が広がりました。

また、アトラクションとして、富岡新井道場(新井法正館長)に通う町内の児童など17人が空手の形・組手を披露しました。(上写真)



# インターハイで4位！！競泳・三浦さん

全国高校総体（南部九州インターハイ）の水泳競技（競泳）が8月17～19日に熊本県熊本市で開かれ、三浦玲央さん（福島・高崎高校3年・右写真）が男子100m背泳ぎ（56秒72）で4位に入賞しました。今夏の県総体優勝、関東大会2位に続いての入賞です。

三浦さんは、「最後のインターハイはあまり結果が振るわず、去年よりも悪い成績で終わってしまい、タイムを出し続ける難しさを改めて思い知りました。これからJOCや国体もあるので、気持ちを切り替えて一つ一つのレースに集中していきたいです」と話してくれました。



# 全国ベスト8！群馬ジュニアハンドボールクラブ



役場を訪れ、茂原町長（後列中央）に報告した群馬ジュニアメンバー

第32回全国小学生ハンドボール大会が8月1～5日に京都府京田辺市で開催され、群馬ジュニアハンドボールクラブ（齋藤英邦監督・茂木敏裕コーチ）の男子・女子が出場しました。全国の強豪男女85チームが日本一を目指す戦いで、同クラブの男女は白熱した試合を展開し、男子はベスト8、女子は惜しくも2回戦で敗退となりました。

吉田壘稀さん（新屋小6年）は「全国大会ではメダルに一步及ばず、悔しい思いをしました。このメンバーでできるもの残りわずかなので、最後の大会が笑顔で終われるよう頑張ります」と話してくれました。

# 関東大会で躍動！あすなろジュニア

第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会が7月27・28日に高崎榛名体育館で行われ、あすなろジュニア（池田多春監督・右写真）が県第1代表として出場しました。

大会は、3チームごとのリーグ戦で行われ、全国大会出場を決めているチームも参加する中、互角な試合を繰り広げ、大会成績2勝2敗と善戦しました。

浅香杏優主将は「関東を代表する強豪チームと試合し、また対戦したいと思いました。今後も関東・全国大会につながる大会があるので、今回勝てなかったチームにも勝てるようこれからもがんばります」と力強く話していました。

